

2. 事業の概要と成果																																									
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	事業対象全 21 センターで給食およびモデル菜園管理が開始・継続されている。新型コロナウイルス感染拡大防止対策に従い、ECDE 教員対象の研修をすべて実施することはできなかったが、成長モニタリングは遅れて開始され、現在継続的に実施されている。 1 年次に CHV を育成した 2 地域の ECDE センター 11 か所および家庭で 5 歳未満児の栄養改善活動を開始し、1 年次に栄養改善に着手した地域でも自立的に栄養改善活動が継続される。(同期間中、対象センターを 10 か所から 11 か所に変更した。)																																								
(2) 事業内容	活動 1: 2020 年 3 月から 12 月までの新型コロナウイルス感染拡大防止のための ECDE センター閉鎖により、活動内容や回数、開始時期等を変更して以下の活動を実施した。(別紙に詳細を記載。) 活動 1: 事業地の住民が保健と栄養に関する知識と技術を身につけ、5 歳未満児の栄養改善のための行動をとる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ワークショップ・研修名 (計画回数・地域→実施回数・地域)</th><th>対象、および講師・ファシリテーター (人数は延べ数)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">グループ 3 (カプソンボッチ、タバイタ)</td></tr> <tr> <td>1-1. 児童の健康、栄養、給食導入 WS (10 地域→3 地域)</td><td>ECDE センター管理委員 (地域の代表、学校長、保護者から成る)、住民、チーフ 32 名、保健局職員 5 名</td></tr> <tr> <td>1-2. 栄養衛生研修 (5 回→1 回、2 グループ→3 グループ)</td><td>ECDE センターの調理師、CHC と CHV 62 名、保健局職員 6 名</td></tr> <tr> <td>1-3-1. 成長モニタリング研修 (2 回、1 グループ→2 グループ)</td><td>ECDE センターの教員 42 名、保健局職員 19 名</td></tr> <tr> <td>1-3-2. 成長モニタリングソフト研修 (3 回→0 回)</td><td>未実施</td></tr> <tr> <td>1-4. 栄養、学校保健研修 (5 回→0 回)</td><td>未実施</td></tr> <tr> <td>1-5. 農業、学校菜園作り研修 (5 回→4 回、2 グループ→4 グループ)</td><td>ECDE センター管理委員、CHC と CHV、住民 351 名、農業局・保健局職員 41 名</td></tr> <tr> <td>1-6. 食事モニタリング研修 (3 回→1 回、2 グループ→1 グループ)</td><td>CHC と CHV 計 30 名、保健局職員 1 名</td></tr> <tr> <td colspan="2">グループ 2 (カプタラムワ、カプレラッチ、ケジリエット、カプソロック)</td></tr> <tr> <td>1-7. 成長モニタリング・フォローアップ研修 (2 回→1 回)</td><td>ECDE センターの教員 19 名、保健局職員 3 名</td></tr> <tr> <td>1-8. 農業、学校菜園作り研修 (4 回→1 回)</td><td>CHC と CHV、管理委員計 40 名、農業局職員 2 名</td></tr> <tr> <td>1-9. 無煙かまど研修 (5 回→5 回、2 グループ→2 グループ)</td><td>CHC と CHV 155 名、CHV トレーナー 12 名、保健局職員 28 名、農業局職員 14 名</td></tr> <tr> <td>1-10. 食事モニタリング・フォローアップ研修 (2 回、1 グループ→2 グループ)</td><td>CHC と CHV 計 40 名、保健局職員 3 名</td></tr> <tr> <td colspan="2">グループ 2 と 3 対象</td></tr> <tr> <td>1-11. 保健局・農業局によるモニタリング</td><td>保健局は 3 名の職員が 2021 年 3 月に、農業局はグループ 2 で 2 回、グループ 3 で 1 回実施。</td></tr> <tr> <td>1-12. 追加研修: 新型コロナウイルス感染拡大防止と世帯調査研修 (19 回、6 地域)</td><td>① 保健局職員対象: 11 名 ② CHC と CHV 対象: 183 名、地域チーフ: 3 名 ファシリテーター: 38 名</td></tr> </tbody> </table> 活動 2: 園児の健康を守るため、ECDE センターの衛生環境が整備される。 2-1. グループ 1 と 2 を対象とした、ECDE センター関係者への啓発 WS を実施し、環境整備のための活動計画をたてた。 2-2~4. ECDE センターの 1 年次の活動実績と成果、また各提案書の内容に基づき、HANDS によるニーズおよびキャパシティ・アセスメント実施後、保健局職員と建設施設対象地を決定、以下の施設建設と通学路整備を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設施設</th><th>個数 (ECDE センター名)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25,000L 雨水貯水タンク</td><td>2ECDE センター (Ngendalel, Kaptalamwa)</td></tr> <tr> <td>通気改良型ピット式トイレ</td><td>4ECDE センター (Ndonyomare, Kapkisasi, Kebimbir, Kapkigoro)</td></tr> </tbody> </table>	ワークショップ・研修名 (計画回数・地域→実施回数・地域)	対象、および講師・ファシリテーター (人数は延べ数)	グループ 3 (カプソンボッチ、タバイタ)		1-1. 児童の健康、栄養、給食導入 WS (10 地域→3 地域)	ECDE センター管理委員 (地域の代表、学校長、保護者から成る)、住民、チーフ 32 名、保健局職員 5 名	1-2. 栄養衛生研修 (5 回→1 回、2 グループ→3 グループ)	ECDE センターの調理師、CHC と CHV 62 名、保健局職員 6 名	1-3-1. 成長モニタリング研修 (2 回、1 グループ→2 グループ)	ECDE センターの教員 42 名、保健局職員 19 名	1-3-2. 成長モニタリングソフト研修 (3 回→0 回)	未実施	1-4. 栄養、学校保健研修 (5 回→0 回)	未実施	1-5. 農業、学校菜園作り研修 (5 回→4 回、2 グループ→4 グループ)	ECDE センター管理委員、CHC と CHV、住民 351 名、農業局・保健局職員 41 名	1-6. 食事モニタリング研修 (3 回→1 回、2 グループ→1 グループ)	CHC と CHV 計 30 名、保健局職員 1 名	グループ 2 (カプタラムワ、カプレラッチ、ケジリエット、カプソロック)		1-7. 成長モニタリング・フォローアップ研修 (2 回→1 回)	ECDE センターの教員 19 名、保健局職員 3 名	1-8. 農業、学校菜園作り研修 (4 回→1 回)	CHC と CHV、管理委員計 40 名、農業局職員 2 名	1-9. 無煙かまど研修 (5 回→5 回、2 グループ→2 グループ)	CHC と CHV 155 名、CHV トレーナー 12 名、保健局職員 28 名、農業局職員 14 名	1-10. 食事モニタリング・フォローアップ研修 (2 回、1 グループ→2 グループ)	CHC と CHV 計 40 名、保健局職員 3 名	グループ 2 と 3 対象		1-11. 保健局・農業局によるモニタリング	保健局は 3 名の職員が 2021 年 3 月に、農業局はグループ 2 で 2 回、グループ 3 で 1 回実施。	1-12. 追加研修: 新型コロナウイルス感染拡大防止と世帯調査研修 (19 回、6 地域)	① 保健局職員対象: 11 名 ② CHC と CHV 対象: 183 名、地域チーフ: 3 名 ファシリテーター: 38 名	建設施設	個数 (ECDE センター名)	25,000L 雨水貯水タンク	2ECDE センター (Ngendalel, Kaptalamwa)	通気改良型ピット式トイレ	4ECDE センター (Ndonyomare, Kapkisasi, Kebimbir, Kapkigoro)
ワークショップ・研修名 (計画回数・地域→実施回数・地域)	対象、および講師・ファシリテーター (人数は延べ数)																																								
グループ 3 (カプソンボッチ、タバイタ)																																									
1-1. 児童の健康、栄養、給食導入 WS (10 地域→3 地域)	ECDE センター管理委員 (地域の代表、学校長、保護者から成る)、住民、チーフ 32 名、保健局職員 5 名																																								
1-2. 栄養衛生研修 (5 回→1 回、2 グループ→3 グループ)	ECDE センターの調理師、CHC と CHV 62 名、保健局職員 6 名																																								
1-3-1. 成長モニタリング研修 (2 回、1 グループ→2 グループ)	ECDE センターの教員 42 名、保健局職員 19 名																																								
1-3-2. 成長モニタリングソフト研修 (3 回→0 回)	未実施																																								
1-4. 栄養、学校保健研修 (5 回→0 回)	未実施																																								
1-5. 農業、学校菜園作り研修 (5 回→4 回、2 グループ→4 グループ)	ECDE センター管理委員、CHC と CHV、住民 351 名、農業局・保健局職員 41 名																																								
1-6. 食事モニタリング研修 (3 回→1 回、2 グループ→1 グループ)	CHC と CHV 計 30 名、保健局職員 1 名																																								
グループ 2 (カプタラムワ、カプレラッチ、ケジリエット、カプソロック)																																									
1-7. 成長モニタリング・フォローアップ研修 (2 回→1 回)	ECDE センターの教員 19 名、保健局職員 3 名																																								
1-8. 農業、学校菜園作り研修 (4 回→1 回)	CHC と CHV、管理委員計 40 名、農業局職員 2 名																																								
1-9. 無煙かまど研修 (5 回→5 回、2 グループ→2 グループ)	CHC と CHV 155 名、CHV トレーナー 12 名、保健局職員 28 名、農業局職員 14 名																																								
1-10. 食事モニタリング・フォローアップ研修 (2 回、1 グループ→2 グループ)	CHC と CHV 計 40 名、保健局職員 3 名																																								
グループ 2 と 3 対象																																									
1-11. 保健局・農業局によるモニタリング	保健局は 3 名の職員が 2021 年 3 月に、農業局はグループ 2 で 2 回、グループ 3 で 1 回実施。																																								
1-12. 追加研修: 新型コロナウイルス感染拡大防止と世帯調査研修 (19 回、6 地域)	① 保健局職員対象: 11 名 ② CHC と CHV 対象: 183 名、地域チーフ: 3 名 ファシリテーター: 38 名																																								
建設施設	個数 (ECDE センター名)																																								
25,000L 雨水貯水タンク	2ECDE センター (Ngendalel, Kaptalamwa)																																								
通気改良型ピット式トイレ	4ECDE センター (Ndonyomare, Kapkisasi, Kebimbir, Kapkigoro)																																								

	無煙かまど付き台所	2ECDE センター (Asenwet, Simbi)
	通学路整備 (Kapelach: 271m, Simbi: 280m)	2ECDE センター (Kapelach, Simbi)
	2-5. サトウキビ運搬トラクター、道路維持管理の不備、雨による浸食等で、通園に危険の伴う通学路2か所をNPO法人道普請人の技術指導を受け、計5名の住民が土のう工法を学び、通学路の整備を実施した。 2-6. 水局、公共事業局、道路局のエンジニア、および保健局の公衆衛生官による施設建設や道路整備のモニタリングとインスペクションを実施した。 2-7~8. 施設建設完了後の維持管理研修(8センターより延べ165名受講)、また通学路整備研修を通じて維持管理計画を住民が立て、実施している。工事前後、および各行程を各地域担当保健局地域保健担当者/公衆衛生官が定期的にモニタリングを実施した。5S専門家による維持管理への5Sの導入、教材開発、モニタリング・シートの改定とモニタリング実施者の保健局職員的能力強化も兼ねた指導を保健局の事業地域担当職員7名に研修を通じて行った。 活動3: CHV、ECDE 教員、管理委員が、住民に幼児の栄養改善の知識と技術を普及する。 3-1. CHVが栄養不良予防啓発と家庭菜園作りを担当地域で引き続き普及した。 3-2. ECDE センターで給食を開始するためのECDE センターによる保護者への啓発を実施。 3-3. CHVによる園児の家庭で出される食事モニタリングを実施した。 活動4: 関係者との情報共有と持続性確保のための現地政府への啓発活動が行なわれる。 4-1. 郡と準郡レベルでの関係者会議は新型肺炎感染拡大防止のため、合同での実施ができず、個別の会議などを通じて各政府関係者らに事業の進捗や関係者によるモニタリングや担当局内での継続を目指した普及を促した。 4-2. 保健局・農業局・教育局の現場担当と実務者レベルでの活動の振り返りや課題解決のために行うワークショップを3回実施した。 4-3. 新型肺炎感染拡大防止対策の中での郡政府職員への幼児の栄養改善のための行動変容をうながすコミュニケーション研修として、政府職員の能力を強化する場を持続可能性につながる本事業の2つの活動を活用し実地研修を実施した。 4-4. ECDE センターへの給食導入や学校菜園作り等の栄養改善マニュアルの作成を、関係者とともに実施し1,000部印刷した。配布は3年次に行う。	
(3) 達成された成果	(別紙に詳細を記載。) 活動1: 事業地の住民が保健と栄養に関する知識と技術を身につけ、5歳未満児の栄養改善のための行動をとる。 1-1. 園児の健康・栄養・給食導入WSに全11ECDE センター出席、活動計画作成と実施。 1-2. 栄養衛生研修の実施は1回、研修内容を踏まえた活動計画の95%が実施された。 1-3. ECDE センター開始が遅れ、各センターでの成長モニタリングは3年次以降開始。 1-4. 未実施。 1-5. 2021年1月のECDE センター再開から、全11センターで給食が開始。 1-6. グループ3では、栄養改善活動開始の遅れにより、CHVによる食事モニタリングは2021年3月に1回実施した。CHVによるレポートの90%は十分な内容であった。 1-7. 1年ぶりのグループ2の教員に対する研修。指標としていた60%の教員による合格点達成は、39%にとどまった。 1-8. 研修回数は1回のみだったが、住民への普及は実施された。 1-9. 無煙かまど研修の参加者の研修後テストでは70点以上を取った者は73%、全体の平均は79点だった。また、活動2-4で建設した調理場2か所での家庭用2個、施設用2個の無煙かまど以外に、25個の家庭用無煙かまど、4個の施設用かまど、17本の煙突を建設した。 1-10. 2020年6月に98家庭を、2021年3月に95家庭を対象にCHVにより実施した。 1-11. 新型肺炎感染拡大予防によりモニタリングの数も減少。しかし、農業局は実施したモニタリングはすべてレポートを提出し、各ECDE センターで適切な指導を行った。保健局は、2021年3月から開始。 1-12. 新型肺炎感染拡大予防に対する保健局の期待と本事業の栄養改善による免疫力と衛生管理の強化等、同状況下でのチーフ(準地区行政官)とCHVの役割等について研修を実施。 活動2: 園児の健康を守るため、ECDE センターの衛生環境が整備される。 2-1. 啓発WS後の環境整備のための活動計画は、コロナ禍による遅れはあったが、95%が実施。 2-2. 雨水貯水タンクが完了した2ECDE センターでは、90%以上の園児が常時トイレの使用後と給食前には手洗いを行えるようになった。 2-3. トイレが完了した4ECDE センターでは、トイレを使用している園児数は全体の95%。 2-4. キッチンが完了した2ECDE センターでは、給食に発酵粥や果物、敷地内のモデル菜園で収穫し	

	たサツマイモ等を取り入れている。 2-5. 2ECDE センターで通学路が整備されてから、園児の出席率は高まり、特に雨期には全園児のうち10～50%以下の出席であったのが、現在のところ70～100%の出席が確認されている。 2-6. 水局、公共事業局、道路局のエンジニア、および保健局の公衆衛生官による施設建設や道路整備のモニタリングとインスペクション・レポートは100%提出、技術面における承認を得た。 2-7～8. 維持管理研修時に作成した維持管理計画は、66%の活動が実施された。 活動3：CHV、ECDE 教員、管理委員が、住民に幼児の栄養改善の知識と技術を普及する。 3-1. グループ2では95家庭のうち62%の家庭にトイレが、52%が手洗い設備があった。グループ2では107家庭のうち79%にトイレが、61%に手洗い設備があった。 3-2. 全ECDE センターの全園児に対して給食が提供されている。グループ2のすべてのセンターにおいて、発酵粥の提供とモデル菜園で取れた野菜や果物を1～2週間に1度は提供を続けている。グループ3でも一部が開始した。 3-3. CHVによる園児の家庭で出される食事モニタリングでは、グループ2では、2回の実施により、バランスの取れた食事（炭水化物、ビタミン、タンパク質）をとっている家庭が、67%（n=98家庭）から97%（n=95家庭）へ、また1日に3食の食事をとっている家庭が97%（n=98家庭）から99%（n=95家庭）へ増加していた。1回のみ実施できたグループ3ではモニターした107家庭のうち、53%の家庭でバランスの取れた食事が出され、98%の家庭で1日に出される食事は3食、2%で2食という結果であった。 活動4：関係者との情報共有と持続性確保のための現地政府への啓発活動が行なわれる。 4-1. 教育局局長とは個別の会議で短期的な活動計画をその都度作成した。しかし、当団体のフォローアップが無ければ計画を実施できず、また教育局主体の計画も実施できなかった。 4-2. 2年次の年間計画が新型コロナウイルス感染拡大防止策により、当初のような政府との連携が期待できなくなり、活動計画の実施は50%にとどまった。 4-3. ①CHVの栄養改善普及活動における行動変容を促すものとして無煙かまど普及を題材とし実地研修を実施。受講者の理解度評価は69%と指標には届かなかったが、郡政府職員の評価は、住民からは高かった。 ②実施マニュアルを活用した普及活動における連携を教育局の能力強化の場として活用した。マネジメントは欠席したが、現場レベルでは100%の活動実施が始まった。 4-4. 実施マニュアルの配布先リストを作成し、配布方法について教育局と協議を重ねた。
(4) 持続可能性	(別紙に詳細を記載。) ECDE センターへの普及として、教育局との協議のもと、実施マニュアルを活用した各ECDE センターによる自主的な園児の栄養改善活動普及対象10センターを選び、準備を始めたところ、それぞれのECDE センターの状況で実施可能な活動をはじめている。教育局はこれらのECDE センターのモニタリングや監督を担当し、3年次はこの事業の引継ぎをHANDSの監督や指導のもと実施する。また、マニュアルの配布も教育局との協力で全ECDE センターに配布し、関係団体への普及も行う。 グループ2のCHVによる無煙かまど普及が順調に進んでいる。家庭だけでなく、近隣の学校からも施設用かまど建設の依頼で建設をはじめると、周辺住民への認知が進み、導入家庭からは、料理の回数や品数の増加に加え、煙がなくなったことで台所を中心にした家族団らんの時間が増えたという声が報告されている。3年次はグループ3での普及を進め、無煙かまど普及グループの活動資金と各メンバーの収入創出とともに、家庭の台所環境の改善を継続する。 政府レベルでは、新型コロナウイルス感染拡大対策による政府職員の活動の中断により持続可能性確保のための活動が制限されたが、2021年以降、教育局を中心に郡上層部への情報提供と面談の機会を再三申し入れており、3年次には郡政府を動かしたい。特に、普及マニュアルを使った各ECDE センターにおける活動実施への政府のエンドースメント、教育局のモニタリング・レポーティング・ツールへの組み込み、園児の栄養改善への積極的介入、保健局との連携（リファラールやレポーティング・ツールの共有、栄養士によるECDE 教員の指導等）、マルチセクショナルなECDE 部門の改善（建設施設や通学路整備における質の向上、予防医療への予算割合の拡大等）、建設部門における住民参加型のモニタリング・システムの導入等、本事業で示した効果を郡政府が取り入れられるような普及を行いたい。